

ふじみ野

市議会だより

No.40

H28.2.1発行

埼玉県ふじみ野市議会

CONTENTS

総括質疑

**市役所本庁舎
リフレッシュオープン!** 2p

市内循環バスを見直し 4p
平成27年度 一般会計補正予算

市政を問う! 一般質問 6p
18人が政策論議

行列のできる経営相談所 13p
行政視察報告



働く人シリーズ⑱ 清掃作業員

護美 美を護るという意味を持った当て字です。市内の美を護るのが清掃作業員のお仕事です。物の価値を十分に生かしてもったいないことがないよう心にかけていきます。

関連記事…14ページ

11/30

12/14

平成27年第4回定例会が開催され、一般会計補正予算をはじめ、個人番号の利用事務等に関する条例や本庁舎増築・耐震補強及び大規模改修工事請負変更契約の締結などの議案が提出されました。特に、一般会計補正予算の地域活性化・地

域住民生活等緊急支援助交付金については、総括質疑や委員会審査で活発な議論が交わされました。審議の結果、市長提出議案27件と委員会提出議案1件が可決。議員提出議案5件が否決、請願1件が不採択となりました。



市役所本庁舎 リフレッシュオープン！

市役所庁舎の 工事費増額 課税誤りの 適正把握へ

問 市役所庁舎等の工事の変更内容は。
答 約2億円の増額となる。内容は、外装・内装部分はタイル剥離、ひび割れ、浮き等の補修追加、正面玄関のひさしの拡大等。電気設備は、非常用自家発電設備の容量拡大など。機械・給排水設備は排水用ポンプ設置の追加。外構は透水性アスファルトへの変更、県道側セットバック部分の延長、スロープの手すりの追加などを行うものである。

問 工事の進捗状況は。
答 11月末段階で95%の進捗状況であり、平成28年3月15日に引き渡し予定である。

問 固定資産税・都市計画税等の過徴収があった。その内容は。
答 平成27・28年度の2カ年計画で土地・家屋の全件調査を進めており、中間結果として95件の課税誤りが判明した。

問 今後の対応は。
答 現在の還付予定額は20年前までさかのぼり約3000万円。今後も全件調査を進め、対象者の皆様へ訪問等により謝罪し、早急に返還手続きを行うっていく。

問 農地利用等の最適化推進に熱意と識見がある人を、農業者等からの推薦や募集を受け、農業委員会で選定する。
答 農地利用等の最適化推進に熱意と識見がある人を、農業者等からの推薦や募集を受け、農業委員会で選定する。

問 市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定理由は。
答 市の諸施策の推進や公益的団体からの派遣要請など、人的交流や支援に備えるためである。

問 農地利用等の最適化推進委員の役割は。
答 農業委員会が定めた担当地区での、農地利用の集積や集約、耕作放棄地の発生防止や解消などである。現場を中心に農地利用最適化のための活動を行う。

問 委員の選定方法は。
答 国で、今年度の大型補正予算が編成されるといふ情報がある。現在得

問 雨water浸透施設設置事業の前倒しをする理由は。
答 雨water浸透施設設置事業の前倒しをする理由は、

問 国で、今年度の大型補正予算が編成されるといふ情報がある。現在得

問 委員の選定方法は。

問 委員の選定方法は。

- ◆議案に対する総括質疑
青 藍 会 小林 憲人 議員
日本共産党 床井 紀範 議員
公 明 党 川畑 京子 議員

総括質疑

本会議での質疑をまとめています。

先駆的事业に 交付金

問 地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金の内容は。
答 この交付金は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」で重要業績評価指標の検証が行われる先駆的事业に対し、10

在宅障害児の 家族ケア

問 在宅超重症心身障害児の家族に対するレスパイトケア事業の内容は。
答 医療的ケアを必要とする重症心身障害児の在宅医療や訪問看護等の需要が高まってきている。同時に、介護をしている家族が病気等で一時的に介護ができなくなった時などのケアも必要になってきている。

浸水被害の 解消に向け

問 雨水浸透施設設置事業の前倒しをする理由は。
答 雨water浸透施設設置事業の前倒しをする理由は、

問 国で、今年度の大型補正予算が編成されるといふ情報がある。現在得

農地利用の 最適化に向け

問 農地利用最適化推進委員の役割は。
答 農業委員会が定めた担当地区での、農地利用の集積や集約、耕作放棄地の発生防止や解消などである。現場を中心に農地利用最適化のための活動を行う。

提出議案と審議結果

- ◎全員賛成 ○賛成多数 ・否決
- … 平成27年度補正予算 ……
- ◎一般会計(第4号)
- ◎国民健康保険特別会計(第2号)
- ◎介護保険特別会計(第2号)
- ◎下水道事業特別会計(第2号)
- 以上、可決
- … 条例の制定 ……
- ◎個人番号の利用事務等に関する条例
- ◎職員の公益的法人等への派遣等に関する条例
- ◎文化振興審議会条例
- ◎農業委員会委員定数条例
- ◎農地利用最適化推進委員定数条例
- 以上、可決
- … 条例の廃止 ……
- ◎公社等に派遣される職員の災害補償に係る処遇の特例に関する条例を廃止する条例
- ◎文化・スポーツ振興条例策定委員会条例を廃止する条例
- 以上、可決
- … 条例の一部改正 ……
- ◎議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- ◎特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◎市税条例等の一部改正
- ◎子ども・子育て会議条例の一部改正
- ◎国民健康保険税条例の一部改正
- 以上、可決
- … 契約の締結 ……
- ◎市本庁舎増築、耐震補強及び大規模改修工事請負変更契約の締結
- ◎葦原中学校校舎大規模改修工事請負変更契約の締結
- 以上、可決
- … 道路線 ……
- ◎道路線の認定(2件) 可決
- … 指定管理者の指定 ……
- ◎鶴ヶ岡複合施設及び旭ふれあいセンター
- ◎スポーツ施設及び有料公園施設等
- ◎大井総合福祉センター
- ◎大井デイサービスセンター
- 以上、可決
- … その他 ……
- ◎三芳町の一般廃棄物の処理に関する事務の受託
- ◎一般廃棄物(不燃系粗大ごみ)の処分に関する事務の委託の廃止
- ◎三芳町の一般廃棄物(可燃ごみ)の処分に関する事務の受託の廃止
- 以上、可決
- … 請 願 ……
- ・代替園への移行措置とふじみ野市での保育に関する請願 不採択
- … 規則の一部改正 ……
- ◎市議会会議規則の一部改正 可決
- … 意見書 ……
- ・重要5品目除外の環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉からの撤退を求める意見書
- ・所得税法第56条の廃止を求める意見書
- ・消費税の10%への増税中止を求める意見書
- ・平和安全保障関連法の廃止を求める意見書
- ・沖縄・辺野古新基地建設の中止を求める意見書
- 以上、否決



個人認証の様子

●主な質疑
問 セキュリティーについては。
答 個人番号を扱うシステムをインターネットと完全に分断した。また、セキュリティーサーバーについても強化済み。窓口業務を行う職員についても百数十名を対象に研修を実施した。
問 仮に情報流出した場合、市民に生じる損害・デメリットについて想定

●意見
成 効率的行政運営のために、必須の制度・課題には、随時全力で対応を望む。
反 担当課の統制、指揮権限が条例上不明確。全職員に徹底した研修が必要。

条例制定

賛成多数で可決

個人番号利用事務条例
市でマイナンバー
運用始まる

マイナンバー制度の開始に伴い、社会保障、地方税、防災に関する事務において、マイナンバーを利用し個人情報情報を効率的に管理・検索するための条例です。

●主な質疑
問 日本年金機構や他市での流出事故は把握している。
答 損害・デメリットについての具体的な想定は難しいが、持てる情報については、一切流出させないよう現在対応している。

平成27年度一般会計補正予算

全員賛成で可決

市内循環バス運営事業等
ワンボックスタイプで
便数を倍増

補正額：1799万1000円

公共交通の空白・不便地域の改善や解消を図るため、定時定路線型の運行見直しと、お出かけサポートタクシーの運行を行います。



現在の循環バス

●主な質疑
問 これまで無料だった人が有料となる理由は。
答 民間事業者が行うべきと判断し、時間とルートを設定した。
問 お出かけサポートタクシーの対象は。
答 65歳以上の高齢者、障がい者、65歳未満の第2号被保険者、妊婦、幼児となる。
問 実証運行にあたっては。
答 定時定路線型のガイドマップや、お出かけサポートタクシーの概要をチラシで折り込み、説明会も中学校区単位で考えている。

文化・スポーツ振興推進事業
文化振興計画を策定

補正額：216万7000円

平成27年10月に施行された文化・スポーツ振興条例を受けて、文化振興計画策定のための意識調査、現況把握を行う予算が計上されました。



議場コンサート

●主な質疑
問 振興計画の中身は。
答 ソフト面、ハード面、文化のあり方等について審議会等の中で検討していきたい。
問 施設の統廃合を含めて、文化拠点の整備についての考え方は。
答 文化拠点となる施設づくりも大きく求められると思っいる。計画策定、審議会の

事務受託

全員賛成で可決

一般廃棄物処理の受託等
広域的なごみ処理
の運用に向けて

平成28年11月からの環境センター稼働に際し、三芳町の一般廃棄物に関する事務の受託に関する規約を定め、ごみ処理の事業運営を行います。

●主な質疑
問 両市町のごみ処理の役割分担は、どう変わるのか。
答 ふじみ野市と三芳町の全ての一般廃棄物と不燃系粗大ごみの処理、処分をふじみ野市が行うことになる。

●主な質疑
問 両市町のごみ処理の経費負担はどうなるのか。
答 負担金の割合は、均等割20%、ごみ量割80%になっている。
問 今後の三芳町との連絡調整や事業運営は。
答 必要に応じて連



現在建設中の環境センター

民間保育園運営事業
民間保育施設の環境整備

補正額：268万3000円

平成28年4月から小規模保育事業を開始する家庭保育室ニューファミリアおともだちの改修費と、亀久保ひまわり保育園の園庭確保に要する賃料に対し補助金を支出するものです。



おともだち保育室

●主な質疑
問 小規模保育改修費補助金の理由は。
答 市として、家庭保育室から小規模保育事業や認可保育所への移行を積極的に推進している。調理室と保育室の面積を増やす工事に
問 待機児童の見込みは。
答 平成28年度において、3歳以上は空きが出るが、3歳未満は若干の不足が見込まれる。定員の弾力的運用等により待機児童
問 亀久保ひまわり保育園では園庭が離れた場所になるが、安全確保は。
答 直接園庭に行けるように、保育園裏側に通路を設ける。

移行措置への対応を
求めて

鶴ヶ岡・亀久保の両保育所の廃止に伴い、移行先の保育内容が事前情報と異なった場合の救済措置や、費用の差額等に対する対応を求める請願が提出されました。

●請願者に対する質疑
問 救済措置の具体的内容は。
答 鶴ヶ岡・亀久保保育所に通っている園児について、他の園への移行を希望した場合は、優先してほしい。
問 費用の要望は。
答 移行に伴う費用や増額になる部分については、市に負担をお願いしたい。
問 3月末までに移行希望先の変更を出した場合の対応は。
答 期限内に希望を出せば、優先的な選考を行っている。それ以降は選考の見直しが必要となり、4月入園には間に合わないと考え。また、4月以降については、低年齢児は空きがないことが予想される。

保育に関する請願

請願
賛成少数で不採択

●市に対する質疑
問 移行に伴う費用負担に関する考えは。
答 帽子代を市が負担したり、布団を無料で配布した事例が

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、18人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(2月下旬掲載予定)

ふじみ野市PR大使「ふじみん」の活用

加藤恵一 議員

問 ゆるキャラグランプリ2015において行われたPR活動は。
答 市広報を通じて市民への投票の呼びかけを行った。



ふじみ野市PR大使「ふじみん」

市職員の消防団への加入促進
問 市職員の加入状況は。
答 消防団員108名中8名が加入している。
問 市職員の消防団員加入促進に向けての啓発と取り組みは。
答 新入職員研修の機会

を利用してのPR活動や市長と入団職員とのランチミーティングを実施した。

人に優しい地域づくりを目指して

問 障がいがある生徒の職場体験の実施状況は。
答 スーパー等の民間企業、保育所等の公的機関

NPO法人などで職場体験を実施している。
問 認知症サポーター養成講座の参加状況は。
答 9月末現在で4564人、今年度目標の3000人を上回る成果となっている。今年度末の目標を4700人と新たに設定し、今後の講座実施に取り組みしていく。

公民館など公共施設の統廃合問題

新井光男 議員

問 公共施設は、市民が地域で暮らす上で欠かすことができないインフラ施設として、学校や文化・スポーツ施設、図書館、公民館全てが共同生活案件であり、国は「地方創生」の名のもとに、生活圏を地域の中心拠点に集約をして、周辺部分にある公共施設の統廃合を進めようとしている。それを後押しするのが、公共施設等総合管理計画であると考える。
答 本来、公共施設は住民の共有財産であり、市民の合意形成が必要である

が、市の見解は。
答 平成26年4月に総務省から策定要請があった公共施設等総合管理計画の計画策定は、平成28年度末を目標に進めている。公共施設は市民の共有財産であり、貴重な財産であると考えている。公共施設の統廃合を検討する場合には、公共施設の状況をわかりやすく伝えるとともに、さまざまな方法で多様な考えを



持つ市民と議論を行い、合意形成を図っていくことが必要と考えている。

子どもの貧困連鎖への対策は

山田敏夫 議員

問 国が昨年公表した我が国の子ども貧困率は、子どもの6人に1人が貧困状態にあるとされている。ふじみ野市における、子どもの貧困の実態把握と貧困の連鎖を断ち切るための対策は。
答 プライバシーに配慮しながら学校及び教育委員会、福祉関係機関と連携して実態把握に努めていきたい。また、生活困窮者自立支援制度に基づく学習支援事業や、学力向上支援を目的としたふじみ野寺子屋事業をさらに拡充していきたい。

ふじみ野を「ふるさと」に

島田典朗 議員

問 ふるさと納税をした人や本市の出身者等にふるさと住民票を発行し、まちづくりへの参加や公共施設の使用料優遇等を行っている。
答 先行する8自治体においても提供サービスを検討中であり、動向を見ながら研究していきたい。なお、ふるさと納税については、本市でも来年度からの実施に向け、

七夕親善大使の一層の活躍を

問 大使の活動期間は1年間となっているが、その後の展開は。
答 任期終了後については議論されていないが、評価も高く、継続の要望もあることから、その旨を観光協会へ伝えていきたい。



七夕親善大使

未利用エネルギー活用に自主財源確保を

問 法改正により、下水道の熱エネルギーを民間事業者が利用できるようになった。使用料など自主財源確保の手段として

は。
答 来年度から下水道に地方公営企業法を適用することもあり、自主財源確保は重要である。省エネ等の環境面からも活用手法などについて調査・研究していきたい。

真の開かれた学校を目指して

問 三角小学校の敷地内通行の対策は。
答 学校と地域住民を含めて今年度中に話し合いを持ち、よりよい安全対策について検討していく。

市民企画講座の継続実施を

問 昨年度、市民が自ら



市民企画講座(リコーダー教室)

企画提案し市民に学習の機会を提供する趣旨で実施された市民企画講座は、51講座、365人の参加があり大変好評であった。今後の取り組みは。
答 市民企画講座は昨年度試行的に実施した。来年度にこの講座を(仮称)市民大学ふじみ野に引き継ぎ、一層の事業拡充を図っていきたい。

一般質問



上沢勝瀬通り線

都市計画道路「上沢勝瀬通り線」の整備を

西 和彦 議員

問 苗間神明神社北側交差点角の用地取得や建物撤去も完了し、今回歩道等設置工事が実施される。今後の取り組みは。

(仮称)苗間みほの公園の計画は

問 今年度、区間全体の用地測量及び2件の地権者の補償額算定のための物件調査を実施する。今後、積極的に事業を進めていく。
答 今年度、区間全体の用地測量及び2件の地権者の補償額算定のための物件調査を実施する。今後、積極的に事業を進めていく。

東原親水公園の整備

問 東屋の老朽化したベンチの修繕とトイレの洋式化への改修の見通しは。
答 県から土地を取得し、建物の解体は今年度中の完了を目指して進めていく。公園整備計画について、今後、地域住民にプランを示し意見聴取をするなど事業を進める。

教育委員会制度改革への対応は

問 教育委員会制度が見直され、法律により総合教育会議の設置や大綱の策定が義務付けされたが、これら新制度への対応は。
答 ベンチは、必要に応じて補修を行う。トイレについては、今後計画的に改修を進めていく。
問 総合教育会議は、近々に開催し協議事項や運営に関する規定を定めたい。また、大綱は「教育振興基本計画」に基づき策定を予定している。

一般質問

公園へハイセンスなテナント誘致を

渡辺 大議員

問 日比谷公園のフレンチレストランや、世界一美しいと有名になった富山環水公園のカフェ、札幌市の大通公園でのビアガーデン、福岡市大濠公園の常設のカフェ等、ハ

イセンスなテナントを福岡中央公園に誘致し、公園運営費への充当と周辺地域のエリアのブランディングは可能か。
答 新たに建築する場合は、470㎡までは可能



富山環水公園

であり、今後研究していく。

オープンデータの推進

問 行政で保有しているデータを公開することで、行政において、例えばどのような活動が行われるか、どのようにお金が使われているか、より

LGBT（性的少数者）への理解を

川畑京子 議員

問 LGBTへの理解を深める市や学校の取り組みについての現状は。

答 性の多様性について正しく学ぶことが重要であり、職員の学習会を実施した。社会全体が関心を持ち、正しく理解していくことが、人権侵害をなくすことにつながる。学校は配慮を要する児童生徒の把握に努め、適切な支援を行い、ケース会

議を開催するなど関係各課及び専門機関と連携した支援体制づくりを図る。

空き家対策を

問 空き家再生事業と特定空き家の現状は。
答 この政策は、先進地の視察や情報収集を経て11月20日に検討会議を実施した。空き家対策は、空き家再生等推進事業と



福岡中央公園のかまどベンチ

対策計画については市内でも実施に関する検討を進める。管理不全な空き家に関し、協議会の設置も含め検討する。

公園に防災設備の拡充

問 公園など公共施設の防災用かまどベンチ、マシンの設置のさらなる設置を。
答 被災者用の生活備品全般については、積極的に導入する。

問 被災者用の生活備品全般については、積極的に導入する。
答 被災者用の生活備品全般については、積極的に導入する。

問 被災者用の生活備品全般については、積極的に導入する。
答 被災者用の生活備品全般については、積極的に導入する。

「ひきこもり」の総合的支援を

伊藤美枝子 議員

問 ひきこもりの家族を抱える親が高齢になると、悩みも深刻。相談支援を。

答 追い詰められた状態になる前に相談できるように、市報やホームページなどで早期相談の必要性を周知していきたい。

問 就労を失った人も自信を喪失するなど、取り組めない人への支援を。
答 今年度から生活困窮

者自立相談支援事業の中で、サテライト事業を実施している。自宅からサテライトに通うところから始め、サテライトでは個別・小グループなど対象者の状況に寄り添った支援をしている。

ロタウイルスワクチンへの助成を

問 発熱やおう吐、下痢を繰り返す、重症化する

と入院に至る。感染力も強く予防にはワクチン接種が重要だが、費用が高額で悩んでいるうちに接種時期を逸してしまう。医療費削減にもつながると思うが、助成は。
答 国は定期接種化に向けて検討中。国の動向を見守りたい。

高齢者肺炎球菌ワクチンの周知を

問 死因の第3位である肺炎の予防を目的に昨年度から定期接種となり、対象年齢の方が生涯に一度だけ公費助成が受けら



子どもの貧困対策をさらに

鈴木啓太郎 議員

問 年間人口増減率で、若年人口の伸び率は県内トップとなった。子どもの貧困対策をより充実していく必要があるのでは。
答 生活の支援では、貧

困の状態にある子どもと保護者への相談を実施する。学習支援では、対象者の拡大、実施場所や方法の見直しを考えている。

成年後見の支援体制は

問 認知症の高齢者で成年後見を必要としても身寄りがなく申し立てを行う人がいないなど、市が救済すべき対象者は増えていると思われるが、対策は。
答 いくつかの要件を勘

案して、市が代わって申し立てを行っている。また社会福祉協議会が法人として成年後見を受任しており、生活支援員、市民後見人の一体的な養成資質向上に努めていく。

想定外の豪雨に備えよう

問 関東・東北豪雨を経て、市の防災対策はどのように見直すのか。

答 国の見直し作業では、想定しうる最大規模の降雨量を設定した被害想定を策定する予定であり、それをもとに来年度の本市のハザードマップ改訂を行いたい。また他の行政関係機関とともにボランティアセンター



災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

れ、応急対策活動を迅速に行う体制を整えたい。

見えやすくなり、市民による行政課題の解決への途も開かれるのでは。
答 できるところからオープンデータ化を進めたい。

志木市1600円、和光市2400円などで実施されている。本市での補助の導入は、朝霞市1000円

音楽ホールの整備を

民部佳代 議員



問 市内の音楽演奏の場が限られている。市の認識は。
答 勤労福祉センターや

大井中央公民館など多目的ホールはあるが、音楽専用ではない。特にクラシックの演奏では響きのよいホールを使いたいため、他市のホールで演奏する話も聞いている。
問 大ホールは集客も難しく使いづらい。2、300席程度の音楽ホールの整備を。
答 文化振興計画策定の中で議論していく。

ふじみ野ブランド

問 今後どのように展開するのか。
答 各店舗やイベントでの販売のほか、大型店での販路の開拓を目指す。
問 ふじみ野土産として使える商品を望む声がある。駅周辺や三芳パーキングエリアなどで販売しては。
答 提案を踏まえて検討する。

コンビニで発行するコンビニ交付の導入は。
答 コストが高額で早急な導入は難しい。マイナンバーカードの普及などの注視し、時期については検討したい。

窓口業務の民間委託

問 市の受付や一部の窓口業務を民間が行っている。派遣法改正の影響は。
答 派遣ではなく、請負契約のため、法改正の影響はない。

各種証明書のコンビニ交付

問 住民票の写しなどコ

一般質問

高齢者の「生涯現役社会構築」への参加を

島田和泉 議員

問 就業や社会活動に意欲と能力があれば、年齢に関係なく活躍できる生涯現役社会に向けた環境整備が必要では。

答 シルバー人材センターを中心とした活動で、就業先の開拓等の専門部署を設け積極的に展開している。

「ふじみ野版CCRC」導入の可能性

問 日本版CCRCの市の検討状況は。

答 導入は考えていない。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

し、若者やファミリー層に選ばれ続けるふじみ野市を目指す。

問 将来的な高齢者向け医療・介護事業への取り組みは。

答 医療・介護は地域包括ケアシステムの構築を進めている。

インターネットリテラシーへの取り組み

問 インターネットを正しく利用するための現状

把握や情報マナー教育は。

答 市内の小中学校でのトラブルは減少傾向である。情報マナー教育は、各学校ごとに児童生徒、保護者への講演会を実施している。教職員は研修会等で情報を共有し、今後も安全な利用方法を周知、安心して学べる環境作りに努める。

遊歩道を整備し健康づくりに活用を

堀口修一 議員

問 「元気・健康都市宣言」をふまえて、健康増進のための環境整備という位置付けのもと、市全域をめぐ

る遊歩道の整備を行うべきでは。

答 遊歩道については、緑の基本計画における「緑のネットワーク」として、整備強化に取り組んでいる。これからも



水路の上も遊歩道に

は、緑の基本計画における「緑のネットワーク」として、整備強化に取り組んでいる。これからも

市民ニーズの把握などに努めて、さらなる充実を図っていく。

問 各地で行われているウォーキングラリーは、自らの地域を見つめ直すよい機会ともなる。本市における開催は。

答 ウォーキングラリーは、スポーツ推進施策の中で検討していきたいと考えている。

「親子造形センター」の整備を

問 障がい者や親子、子

どもが、アート体験を積むことができる「親子造形センター」を整備するべきでは。

答 子どもの頃から、表現手法として絵や粘土などの造形活動を体験していくことは、創造性や自主性を伸ばし、感性を育てるために非常に重要だと認識している。文化振興計画策定の中でそういった場やアート発信拠点の整備を検討していく。

保育所誘致で待機児童対策を

小林憲人 議員

問 認可保育所等を誘致するにあたって、保育所の空白地域がないような検討を。

答 まず、整備する必要性を検討し、その上で、市全体の保育需要等のバランスを勘案して配置を検討する。

問 認可保育所等を誘致するにあたり、自己評価や学校関係者の評価に加



一歩踏み込んだ学校評価の導入を

問 地域協働学校を実現

するにあたり、自己評価や学校関係者の評価に加

え、第三者評価も加えるべきでは。

答 第三者に評価をもらい、問題点を把握し教育の質の向上につなげることは必要。地域協働学校導入の進捗に併せて検討したい。

切れ目のない高齢者支援を

問 24時間の訪問介護看護事業をサービス付き高齢者住宅が担っている。事業拡充のために住宅の誘致を図っては。

答 誘致に関し、市は直接関われない。しかし、

地域包括ケアシステムを構築する上で、住宅設置者との連携は必要と考える。

笑顔で元気健康づくりを

問 笑いは最も身近な健康法であり、健康長寿に

効果があるとの研究結果が存在する。医療費や介護保険給付費の抑制につながる可能性もあるのでは、全市的な取り組みを推進するにあたって、さらに力を入れていきたい。

答 元気健康づくりを推進するにあたって、さらに力を入れていきたい。

国民健康保険広域化における市の対応

伊藤初美 議員

問 平成30年度に国民健康保険の運営主体が市から県に移管される。国保税が値上げにならないよう法定外繰り入れは継続すべきでは。

答 市に求められる納付

金に必要な額と現在の保険料率には乖離があると予想されるので、税率を改正するにしても激変緩和の観点から一定程度法定外繰入金に依存せざるを得ない。

保育所の待機児童対策

問 待機児童数の多い0歳から2歳の定員の拡大を、公立保育所でできないか。

答 施設の面積や保育士等配置基準を考慮し、定員を弾力的に運用するなど柔軟に対応している。

問 育児休業を取得できない家庭も多い。公立保育所で生後2カ月児童の受け入れを実施しては。

答 どのような条件や体制整備が必要か調査・研究していく。

障がい者スポーツの促進

問 障がい者が日常的に参加できるスポーツの機会を増やすべきでは。

答 来年度から新規事業としてスポーツ教室を開催する予定である。

三芳スマートIC大型車両通行問題

問 周辺道路の整備なしに、大型車両通行量増加に対応できるのか。

答 大井中学校前の市道は、交通量の増加が予想されるアクセス道路に含



小学校でのICT教育の様子

勝瀬苗間通り2号線の整備を

谷 新一 議員

問 大井苗間第二地区内の都市計画道路・勝瀬苗間通り2号線の整備の進捗状況は。

答 本路線と上沢勝瀬通り線との交差点位置を砂川掘の上を経て、弁天橋交差点に変更する案がある。現在、地区計画の検討に併せて道路位置及び線形の見直しを進めている。

組体操の安全確保

問 市内小中学校で行われているピラミッドやタワーと呼ばれる組体操については、何を判断基準として実施されているのか。

答 望ましい人間関係の形成や仲間との協力、責

任といった態度の育成を目指して実施している。

なお、小学校は担当学年の教員、中学校では体育教員が中心となり、技の企画立案を行い、安全管理職の判断のもと実施



で手の骨折が2件、タワーで手や足の骨折が2件ある。その他、手や足、頸椎等の打撲、捻挫、挫傷等である。

問 過去5年間の市内小中学校での組体操による共済金給付事由の発生件数は。

答 小学校で25件、中学校で5件あり、けがの状況としては、ピラミッド

※地域協働学校 学校・家庭・地域の三者が協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進める仕組み。別名：コミュニティ・スクール

※CCRC（継続介護付きリタイアメント・コミュニティ） 地方にバリアフリーの高齢者向け住宅をつくり、第2の人生を楽しめるようにする、高齢者居住コミュニティのこと。

幅員の狭い大井中学校前

10/29・30

市民・都市常任委員会

行列のできる経営相談所

市民・都市常任委員会では愛知県岡崎市の岡崎ビジネスサポートセンターの行政視察を行いました。岡崎ビジネスサポートセンターの概要と、現在のふじみ野市での取り組みについて紹介します。

内容：中小企業及び起業家への支援拠点
場所：愛知県岡崎市

内容：地域住民によるまちづくりに対する支援制度
場所：愛知県春日井市



ふじみ野市商工会事務局の皆さん

ふじみ野市商工会にお邪魔しました

Q ふじみ野市商工会の経営相談体制を教えてください。

A 経営指導員は5名です。また小規模経営基盤強化として中小企業診断士、弁護士、税理士などの専門家と連携して相談者のニーズに合わせた無料相談を行っています。

Q 相談件数を教えてください。

A 平成26年度は、窓口、巡回、創業指導で合計2080件です。訪問での巡回指導に力を入れています。

Q ふじみ野市商工会の今後の展望は。

A 商工会としては、単発的な相談ではなく事業計画策定から販路の開拓までをフォローできるように“伴走型の支援体制”を目指していきたいです。

●岡崎ビジネスサポートセンター

岡崎ビジネスサポートセンターは、岡崎市と岡崎商工会議所が共同で運営しています。商工会議所の会員資格に関係なく市内の個人や事業所の相談に応じ、売り上げアップに特化したサポートを行っているのが特徴です。

相談員であるビジネスコーディネーターやIT/デザインアドバイザーが時間をかけて話を聞き、第三者の視点で事業のセールスポイントを見つけ、新たな販路の提案やITを使った情報発信など、攻めの経営を経営者と共に考えるのが主な業務です。相談は予約制ですが、予約が取れるのは3～4週間先という「行列のできる経営相談所」です。

一方、ふじみ野市では、経営相談はふじみ野市商工会が行っており、会員事業所に対し「財務・労働・金融相談のほか、プレミアム商品券や福バルなどの事業の説明を行っています。」

総務常任委員会

10/19・20

内容：見える化による市税等収納率向上について
場所：新潟県糸魚川市

内容：公共データのオープンデータ化について
場所：石川県野々市市

福祉・教育常任委員会

10/27・28

内容：「スマートウェルネス」による健康づくりについて
場所：大阪府高石市

内容：児童・生徒の体力向上事業について、不登校早期対応について
場所：兵庫県明石市

子どもの貧困対策への市の対応

床井紀範 議員

問 子どもの貧困についての市の考え方は。

答 教育支援、生活支援保護者に対する支援などを相互的に行い、民間とも連携して多種多様な支援を行っていく。

問 子どもの学習支援事業について、今後は、生活困窮者まで事業の対象

を拡大すべきでは。

答 受け入れ施設の規模等の問題があるが、対象者を拡大していきたい。

誰もが安心して学べる奨学金制度の実現を

問 市の入学準備金貸付や奨学金の実施状況は。

答 老朽化した遊具の再整備が優先で、現在、健康遊具の設置は考えていない。

福岡中央公園の整備を

返済不要な給付型奨学金制度を新設すべき。

や貸付状況は、減少傾向にある。減少理由は把握していない。



福岡中央公園

ほこり対策を行うべきでは。

問 強風時等にはほこりがひどいことは認識しているのか、今後、研究する。

健康遊具の設置は考えていない。

要支援者の介護予防を維持できる総合支援事業

足立志津子 議員

問 要支援者の総合支援事業に専門的事業者のサービスの継続を。

答 現行のサービスは継続の予定。

問 サービスを低下させないために、予防給付の報酬は現行どおりに。

答 介護事業者への報酬は、適正な額を考えると、

アイデア活かした中小業者の経営相談

問 弱点をセールスポイントに切り替えるアイデアを提案する相談窓口開設で、中小工業者の経営支援を。

答 先進事例を参考に、商工会とも連携して、経

市立図書館は学習権を保障する運営に

問 市立図書館は、指定管理者制度の上福岡図書館を含め、知る権利や学習権を保障する運営を。

答 直営の大井図書館に、9名中8名が司書有資格の正規職員を配置し、連絡調整会議で上福岡図書館の詳細な点検や調整を実施。大井地域の4文庫の充実も図る。

公民館の使用料減免制度の存続

問 法に基づく社会教育機関である公民館を利用することは住民の権利で、受益と考えるものでない。使用料減免制度は存続を。

答 受益者負担の適正化の面から、減免制度のあり方を検討している。

自衛隊施設への対応・認識などは

塚越洋一 議員

問 情報基地である自衛隊大井通信所について、地元自治体としての認識は。

答 防衛大臣直轄の特別機関である情報本部所属の通信所として、極めて重要な活動をしている施設と認識している。国の交付金については、格上げするよう強く要望していく。



マンションの支持杭データ偽装問題

問 支持杭データ偽装事件から何を学ぶか。仕様書の改善は。

答 仕様書の段階で再委託や下請けの事項を入れ、適正な設計や施工ができるよう担当課に周知したい。

編集委員が
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

清掃作業員の方に伺いました

Q お仕事の内容を教えてください。

A 主に可燃物の収集を行っています。担当エリアは、2エリアです。収集車は市内東地域・西地域でそれぞれ5台に分かれて収集を行っています。収集は午前中に終わるようにしていますが、天候により午後になってしまう場合もあります。



ご協力：左から大塚輝秀さん、鈴木洋司さん

Q お仕事で大変なところを教えてください。

A 天候に関わりなく作業を行うので、夏場の暑い時期や雪が降る冬の時期などで体力を消耗したり、腰を痛めたりと肉体的に辛いことです。

Q お仕事をやっていて良かったところを教えてください。

A 市民の方に「綺麗にさせていただきありがとうございます」とお声をかけていただけることです。

Q 市民の皆様にもメッセージがありましたら教えてください。

A いつもごみの分別にご協力いただきありがとうございます。食べ残しなどの生ごみを減らすようにご協力をお願いいたします。

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。市議会の議事録も見られます。

アドレスが変わりました!

<http://www.city.fujimino.saitama.jp/categories/bunya/shigikai/>



12月定例会の傍聴者は92人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定: **3月1日** 午前9:30～
市役所4階で開催します

請願締め切り予定: **2月19日** 午前10:00

議会広報常任委員会

委員長	伊藤美枝子	副委員長	渡辺 大
委員	加藤 恵一	委員	小林 憲人
委員	島田 典朗	委員	民部 佳代
委員	床井 紀範		

表紙の題字を書いた人
大井中3年 遠藤瑠美さん

ふじみ野



「ふじみ野」はとても書くのが難しく、バランスや太さを合わせるのが大変でしたが、一筆一筆、丁寧に書きました。

編集後記

12月議会では、市内循環バスの見直しを含む補正予算案が審議されました。公共交通の空白地域や交通弱者に配慮した、定時定路線型とデマンド型の二方式で、実証運行が行われます。今後も議会として、事業の運行改善を議論していきます。

今年1月からマイナンバー制度の本格運用が始まりました。マイナンバー制度は、税、社会保障や災害対策などの分野で導入され、行政手続きの簡素化なども含めて、今後、国民生活で、その役割が期待されています。全国的には複数の自治体で情報漏えいが起きており、市はマイナンバー対策を万全に行うことが求められます。議員もまた、昨今の社会の現状をよく捉え、市民生活の向上のために議会活動に励む決意です。

(床井紀範)

市議会議員による年賀状などの時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。